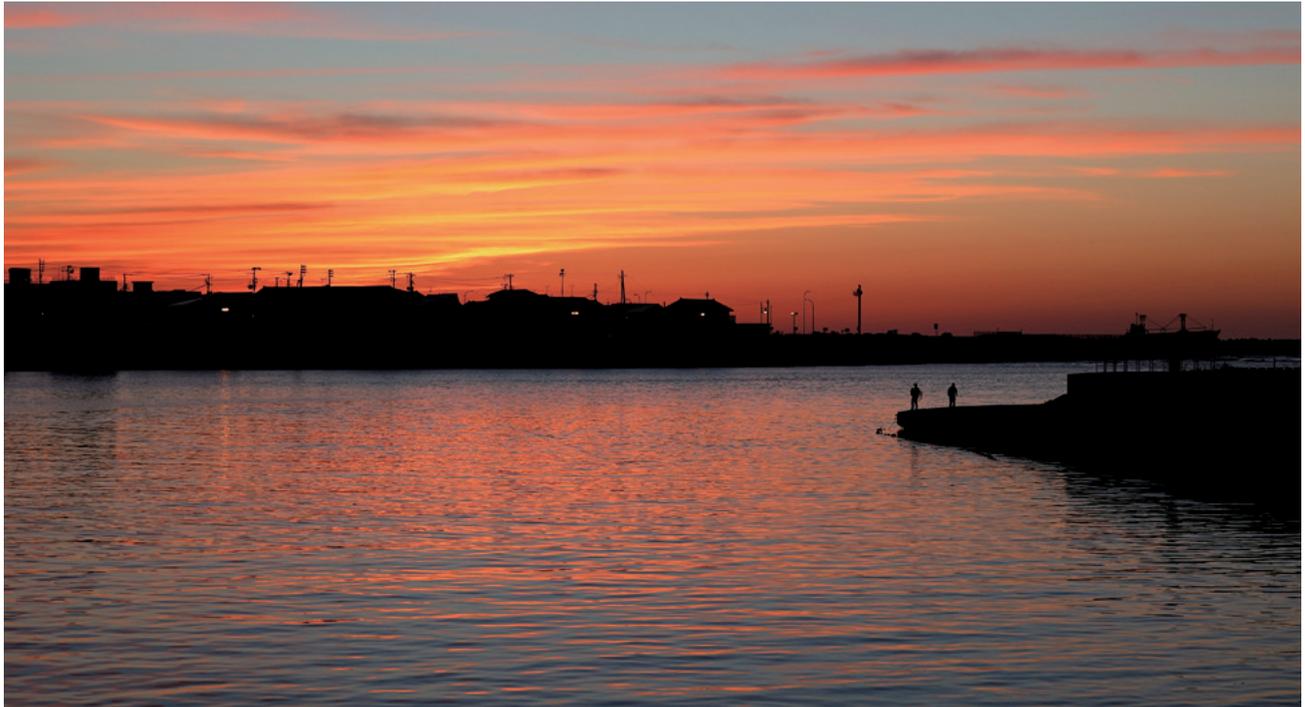


生きがい

第74号

発行 令和4年7月15日
(公社)上越市シルバー人材センター
本所 上越市西城町1-12-4
Tel. 025-522-2812
頸北支所 上越市柿崎区柿崎6405
Tel. 025-536-6100
編集 広報対策部会
印刷 (有)不二印刷



「夕景」撮影 広報対策部会 関川雅夫

新年度にあたって



理事長 井部 博光

去る五月二十七日(金)、公益社団法人上越市シルバー人材センターの令和四年度定時総会が高田城址公園オーレンプラザにおいて開催されました。

コロナ禍の中、昨年度と同様に参加者が少なくなりましたが、会員の皆様のご協力により無事終了することができました。

さて、この定時総会で提案された令和三年度決算では、事業実績について、受託事業の契約金額では一般家庭で大幅な減少となったものの公共と民間の増加により七百九十四万六千円増の三億五千六百六十八万五千円となりました。一方、人材派遣事業は前年度比三百四十六万三千円減の一億一千八百三十六万六千円となり、この結果、受託事業と人材派遣事業の合計での契約金額は、前年度比四百四十八万三千円増の四億七千五百五万一千円となりました。これもひとえに会員の皆様のご尽力によるものと感謝しております。

こうした状況にはありますが、順調に実績を伸ばしていた派遣事業がここ数年減少傾向にあり、また一般家庭からの請負による受注についても大幅に減少しておりますことから、当面の課題としてシルバー人材センター事業の根幹である一般家庭からの受注を何とか維持しなくてはならないと考えております。今後、地域社会の高齢化が進み日常生活の中で受注できる仕事が増えてくるものと考えられ、地域ニーズを的確に把握し、事業の実績に繋がっていきたくと考えております。

また、将来的には税制改正に伴う財政的な負担が増加するなど、シルバー事業を取り巻く環境には大変厳しいものがあります。役員、事務局一丸となって対応していきたくと考えておりますので、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

令和四年度 公益社団法人 定時総会の概要

公益社団法人上越市シルバー人材センターの令和四年度定時総会が五月二十七日(金)、高田城址公園オーレンプラザにおいて開催されました。

昨年度に続き今年度も県内で新型コロナウイルス感染症の感染が続いており、感染防止対策として出来る限り委任状による議決権の行使を会員の皆さんに要請したことから、当日の出席者は三十五名になりました。

開会にあたり井部理事長は、コロナ禍の状況にありながら、事業実績が向上したことを報告、会員の皆さんの頑張りに感謝の意を表すると共に、今後も更なる実績回復に努めたいと挨拶しました。



井部理事長
コロナの感染防止対策のため、例年来賓としてご臨席いた

だいでいる上越市長、上越市議会議長、上越公共職業安定所長様については、昨年度に続き今年度もお招きせず、市福祉部長の小林元様から中川市長様のメッセージをご披露いただきました。



小林部長様
引き続き議事に入り、事務局からの議長選出の提案を受け、

春日山町二の田中保行氏が満場の同意を得て議長に選出されました。

定足数の報告

事務局長より、定時総会当日の会員数は一千三十名、定足数は過半数の五百十六名であり、本日の出席者数は九百四名(本人出席三十五名、委任状八百六十九名)であることが報告され、この結果を受け議長は総会の成立を告げた。

事録署名人



田中議長

議長より定款第二十一条第二項の規程により議長と出席した代表理事が署名するとの報告があった。

議案の審議

報告第一号「令和三年度収支補正予算の報告について」事務局長より経常収益及び経常費用の補正額の内容が説明され、またこの内容については既に理事会での承認を得ている旨の報告があった。



杉田副理事長

最後に、報告第二号「令和四年度事業計画及び収支予算の報告について」を議題として提案説明が行われ、説明の後、この内容については既に理事会での承認を得ている旨の報告があり、全議案の審議を終了した。



宮下監事

監査報告の後、質疑もなく両議案とも原案通り承認された。



会場の様子

十年会員表彰について

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定時総会での表彰を中止しました。該当する会員の皆さんには後日、表彰状と記念品を事務局よりお配りしました。



祝

十年会員表彰を受けて



働く喜びを
感じて

池田 友子

(中央五)

この度、十年表彰を受け、誠にありがとうございます。

友人から入会を勧められ説明会に行き、自分でも十年の日が経ったのかと驚きました。

最初は個人病院の清掃の仕事、その後、直江津船見公園と郷津海岸海水浴場の仕事をいただき、利用客には「大変ですね」「いつもありがとう」と声を掛けて下さる方もおられ、嬉しく力になります。

いつまで出来るかですが、人様のお役に立っていると思うと力が湧いて喜びを感じております。

車の運転に気をつけて迷惑をかけないように心がけております。

最後にシルバー人材センターの皆様のご発展と健康をお祈り申し上げます。

感謝



目標に向かって
活動実行

長坂 克彦

(東城町二)

会員登録をお願いしたのは入会説明会に出向いた際でした。

しばらくの間はイベント会場の設営の仕事や講習会に参加していましたが、その後、剪定・冬囲い業務の班に加わり先輩や会員仲間と一緒に働き、支えてもらったり

助けてもらったりしながら技能の指導を受けたことは今でも有難く思っています。

最初の頃は生垣・樹木の刈込の見習いとして技能の向上に励みながら、怪我と事故の防止に細心の気配りを忘れず微力を尽くしました。

高齢化の社会では、「いつまでも元気でいたい」、「丈夫な体を維持したい」と願う高齢者が多いと言われますが、健康を大切にしながら、社会を支えるシニア世代の担い手としてこれ

れからも活躍したいと思えます。



皆様の支えに
感謝

尾日向 忠勝

(北城町四)

地域班長と福祉施設で宿直業務を務めさせてもらい、はや十年とは自分でも驚いています。これらひとえに皆様方のおかげと感謝しております。夜間の仕事は職員の方が不在となるため緊急時や災害時の対応があり、責任重大です。

私は長き先輩や仲間と出会い一緒に仕事が出来、本当に有難く、色々なトラブルや対応のまずさに戸惑うこともありましたが、その都度皆様に支えられて今日まで続けることが出来ました。

まだコロナが終息しておりませんので、感染源とならないように気をつけながら人様のお役に立てたらと思つて頑張るつもりです。これからもよろしくお願いいたします。



いつまでも
挑戦

新部 哲夫

(中田原)

六十四歳でシルバーにお世話になつてから早いもので十年が「アッ」という間に過ぎてしまいました。六十九歳で大腸がんの手術をしましたが、それ以外、業の世話にならずゴルフを趣味に元気で働いてきました。自分の家に少々の畑もありながら近所の農家より畑を借りて野菜を育てるのが何よりの楽しみになっています。

素人の私に何かと世話を焼いてくれるオバちゃん(失礼)が居て、つくづく人との付き合いは大事なものだといふ歳になって再認識しているところです。

四月に七十五歳になり後期高齢者になりましたが、実感が湧きません。アレコレ役員や趣味、体が二つあればと思うほどです。それを言うとう女房が「やめなから後が育たない」と。その通り。

体と相談しながらいつまでも色々なものに挑戦していきたいと思



第20回
就業先拝見

こんな仕事をしています



受付業務に
就いています

木南 玲子
(黒井)

私は「歴史博物館」で受付の仕事をしております。主に入館チケットの販売や施設のご案内です。平成三十年七月にリニューアルオープンした際、声をかけて頂いて、間もなく四年になります。

受け付けは現在八人で交代して、通常は月に六〜八日位の勤務です。

接客・現金の扱いは経験がありました。が、「歴史博物館」は県外の人達も多く入館されて色々な質問されるので、最初はとても不安でした。しかし、周りの方々に支えられて元気で続けられています。とてもありがたい事です。



色々な展示物がございますので、是非、一度おいで下さい。



日々変化する
苗管理

荒井 達文
(春日山町二)

私はホームセンターに五月、六月の二か月間、派遣会員として今年で三回目の業務となります。初日に職場の方に「今年も来てくれて有難う」、嬉しくて身の引き締まる想いになりました。

朝一番に指示書の確認、指示に従い花苗の水くれ、グリーンメンテ、苗箱造りの作業、水くれが一番重要な作業です。

お客様に、この苗どこにありますか、と尋ねられ分からない時は悔しく思いますが、担当者に確認しその場に案内します。グリーンメンテは優しく、丁寧を心掛けています。



仕事をしながら張りたく思っています。



公園管理人

齊京 和良
(西吉尾)

上越市にはご存じのとおり沢山の公園があります。

皆さんから公園を安全に利用していただくために、きちんとした維持管理をしていかないと使えなくなり、また見苦しい姿になります。私の仕事は公園をきれいにする仕事です。公園には遊具、ベンチ、トイレ、樹木、草花、雑草と、手入れを必要とするものがたくさんあります。

一番厄介なものは雑草(草刈り)です。年に七回以上草刈りが必要とする公園もあり、夏の暑い時期の作業は大変です。公園が綺麗になり、その中で子供たちが駆け回って遊んでいる姿やウォーキングを楽しんでいる人達を見ると疲れも取れ、やり甲斐を感じます。



六月二日、刈払機取扱作業者安全衛生講習会に参加しました。私は昨年十月にシルバー人材センターに入会し現在、庭木の剪定や冬囲い、刈払機を使用した除草等の作業をやっております。刈払機を使用した除草作業は危険を伴う作業であると共に、器物損壊等の事故発生も後を絶たないという事をお聞きし、緊張感を持って講習会に参加しました。講習会は刈払機の知識と点検・整備や安全等に関する学科と実際に刈払機を使用した実技について、長年林業で刈払機作業をしている講師の方より教えて頂きました。これまではただ切刃交換や燃料補充だけやって作業していましたが、刈払機の構造や点検・整備の重要性や、作業にあたっての安全対策・対応等の内容を分かり易く教えて頂き、目から鱗の思いがすると共に、今後刈払機作業をする上で参加して良かったと思える講習会でした。



刈払機取扱作業者
安全衛生講習会
受講して

木原 敏保
(大潟区)

六月二日、刈払機取扱作業者安全衛生の講習会に参加しました。

私は昨年十月にシルバー人材センターに入会し現在、庭木の剪定や冬囲い、刈払機を使用した除草等の作業をやっております。刈払機を使用した除草作業は危険を伴う作業であると共に、器物損壊等の事故発生も後を絶たないという事をお聞きし、緊張感を持って講習会に参加しました。

講習会は刈払機の知識と点検・整備や安全等に関する学科と実際に刈払機を使用した実技について、長年林業で刈払機作業をしている講師の方より教えて頂きました。これまではただ切刃交換や燃料補充だけやって作業していましたが、刈払機の構造や点検・整備の重要性や、作業にあたっての安全対策・対応等の内容を分かり易く教えて頂き、目から鱗の思いがすると共に、今後刈払機作業をする上で参加して良かったと思える講習会でした。

令和四年度 会員互助会

定時総会を開催

(概要報告)

去る五月二十七日(金)に高田城址公園オーレンプラザで開催された令和四年度上越市シルバー人材センター定時総会に引き続いて、会員互助会の定時総会を開催しました。



杉田会長

杉田会長の開会の挨拶に続き、議事に先立ち、池田事務長より議長選出の提案があり、柿崎区の



小出議長

議長に選出されました。また、小出議長から議事録署名人として大久保正道幹事と池田かをる幹



三上監事

事が、書記として田近英樹幹事がそれぞれ指名されました。引き続き議事に移り、第一号議案「令和三年度事業報告について」、第二号議案「令和三年度収支決算報告について」事務長から説明があり、三上千加子監事から監

シルバー会員互助会通信

通り承認されました。

続いて第三号議案「令和四年度事業計画(案)」、第四号議案「令和四年度収支予算書(案)」について、事務長より説明があり、質疑もなく、原案通り承認されました。議事終了後、田近副会長が閉会の挨拶を述べ、午後二時四十五分閉会となりました。



田近副会長

☆令和四年度行事予定☆

定時総会で今年度事業と予算の承認をいただきましたので、行事予定についてお知らせします。

★納涼会

○八月五日(金)

*会場未定

★講演会

○九月上旬予定

*詳細未定

★親睦旅行

○十月六日(木)・七日(金)

*詳細未定

★清掃ボランティア

○十月予定

シルバー普及啓発

月間に合わせて実施予定。



★忘年会

○十二月九日(金)

*会場未定

★慶弔・見舞金給付事業

★機関紙「生きがい」記事掲載

★サークル活動支援事業



〈コロナ対応のお願い〉

令和元年度から続いているコロナ禍のため、互助会行事を実施できない状況が続いています。このため、令和三年度決算時点で約百十四万円の繰越金が発生しています。繰越金は会の運営に必要なものでありこの全額を取り崩すことは会の存続にとつて好ましいものではありませんが、今後コロナ禍が落ち着き以前のように行事が実施できるようにになった時点で、納涼会や親睦旅行等の助成金として活用し、会員の皆さんに還元したいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

なお、今年度もコロナ禍のため予定している各種行事について、延期や中止も想定されますので、ご理解・ご協力をお願いします。(互助会事務局)

新年度にあたり



互助会会長 杉田 久

去る五月二十七日の令和四年度定時総会において、今年度の事業計画と予算が承認されました。コロナ禍のため昨年度も二年続きで親睦事業を全く実施することが出来ませんでした。ワクチン接種も進み、新型コロナウイルス自体の特性も徐々に解明され、感染対策も効率的に行われるようになってきています。飲み会や旅行の規制も緩和されてきており、今年度は親睦事業の一つでも実施できる状況になることを期待したいと思えます。

引き続き、会の運営にご理解とご協力をお願いいたします。皆様のご健勝とご活躍をご祈念いたします。

◆◆◆ご冥福をお祈りいたします◆◆◆

互助会規程に基き、亡くなられた会員のお宅へ幹事が弔慰金をお届けしました。

(機関紙第七十三号掲載以降に亡くなられた会員)

★佐藤 正作 様

(土口)



事務局だより

車両設置用「安全掲示シート」の活用について

センターでは安全委員会を通じて機械除草作業における事故防止対策として「飛び石防止ネット」の使用を推奨し、安全意識の高い多くの会員の方々に使用して頂いているところです。

令和三年度ではその効果もあり、前年度六件の飛び石事故が二件に減少しました。この二件はいずれもナイロンカッターを使用しており、うち一件は安全ネット不使用によるものです。ナイロンカッター使用の是非も問われるところですが、これだけ推奨しているにもかかわらず、今後も安全ネットの不使用による事故が続けば、損害賠償事故で会員個人が負担する免責金額の見直しを検討せざるを得なくなります。

機械除草作業では必ず安全ネット使用し、車両や住宅が隣接している場合は特に注意して下さい。

また、当センターでは物損事故が多いですが、全国的には「飛び石が歩行者の目に当たり、失明させてしまった」「走行車両に当たり交通事故を誘発させた」という重大な事

故が発生しています。このような事故の当事者となると身体的には勿論のこと、金銭以上に心の傷を被害者・加害者ともに背負うこととなります。

センターではこうした被害者・加害者を生まないため、このたび周囲への注意喚起を目的に、車両設置用「安全掲示シート」を作製しました。これは機械除草作業の他、庭木作業等のセンター業務全般に活用することが出来、シルバのPRにもなります。

特別な加工も必要なく、不要な時は丸めて収納しておけますので、作業時には必ず軽トラの荷台に取付けて掲示し、周囲への注意喚起をお願いします。

希望する会員は事務所（本所・支所）までお問い合わせ下さい。



軽トラの荷台に掲示

＜問合せ先＞
 本所 ☎522-2812
 支所 ☎536-6100

★衛生講話を開催

六月二日(木)午

後、市民プラザで衛生委員会主催の「衛生講話」を開催しました。



当日は二十七名の会員が参加し、産業医の相澤研一先生から「就業中のけがの対処方法について」と題して、就業中の事故における応急処置の方法や、ハチ刺されやへび、犬などにかまれた場合等の対処法についてお話をお聞きしました。



産業医 相澤先生

会員数

(2022.6.30現在)

男 790名
 女 276名
 合計 1,066名

本所 840名
 頸北支所 226名

季節のスナップ



「アジサイ」

撮影：広報対策部会 関川 雅夫

あともがき

新型コロナウイルス感染症の影響が広がってから三回目の夏を迎えます。最近の感染状況は減少傾向にあり収束に向かっていく感じがします。

今後は感染状況を見ながら就業や社会活動への参加、仲間とのつながりを大切に、「生きがい」を感じる日々を取り戻していきたいと思います。

(広報対策部会 上野和敏)